

## 石田総務大臣と有識者との意見交換会（第1回）議事要旨

### 1. 日時

平成30年11月16日（金） 11:30～13:00

### 2. 場所

総務省大臣室

### 3. 出席者

石田総務大臣、大石所長、佐藤顧問、増田教授、松山顧問、村井教授

### 4. 有識者からの主な意見

- 東京一極集中の問題は防災の観点からも深刻。
- 首都圏の企業は、従業員の時間と居住空間を奪っていると考えれば、法人税をもっと多く払ってもいいのではないか。
- 東京一極集中の是正について、かつては四全総（国土審議会）で大議論をしたが、今は何の議論もないが、それでいいのか。
- 地方財政は危機的な状況であり、財源が足りなければ独自で抑制や工夫が必要。
- 保育所の入所選考に関して、これまで膨大な人手と時間が必要であったが、AIの活用により数秒でできる時代になってきている。
- 経済成長・地方活性化政策は、企業や国民が高まるリスクに身構えている状況に手を打っていく必要がある。
- GDP統計を補完するような新しい幅広い統計を整備し、それを目標にするべきではないか。
- ITを活用してグローバルな市場をターゲットにすれば、地方は伸びしろがあり、グローバルに直接出て行ける。
- 人を助けるためにはデータを使う、ということが進むと、エビデンスに基づく災害対策が取れるようになる。
- 遠隔教育を活用して、地方の大学や小中高がよくなることが大事。